

北海道博物館 第17回企画テーマ展

楽器 見る・知る・考える

—北海道博物館資料＋柘谷隆男氏コレクション—

さまざまな楽器をじっくり見るとともに、音を出して何かをするための道具（音具）について深く知り、幅広く楽器について考えることをとおして、音の文化への関心を広げてみましょう。

本展示では、北海道博物館が所蔵する楽器・音具資料などのほか、楽器学の幅広い知見と音楽教育現場での豊富な経験を有する柘谷隆男さん（札幌市）のコレクションの一部も、あわせて展示します。



- ① 拍子木（ひょうしぎ）
- ② 団扇太鼓（うちわだいこ）
- ③ でんでん太鼓
- ④ メキシコ先住民のボラドーレス儀礼で用いる太鼓
- ⑤ 軍隊ラッパ（ビューグル）
- ⑥ セミアコースティックギター
- ⑦ 熊よけラッパ

- ⑧ ニヴフの擦弦楽器「トゥンクルン」
- ⑨ 木魚（もくぎょ）
- ⑩ 横にして吹く「菊水流九孔尺八」
- ⑪ 尺八（中継ぎなし）
- ⑫ 教育用の樹脂管リコーダー「スベリオパイプ」
- ⑬ 教育用の樹脂管リコーダー「スベリオパイプ」
- ⑭ メキシコ先住民のたて笛

- ⑮ メキシコ先住民のたて笛（④とセットで用いる）
- ⑯ アイヌの竹製口琴（こうきん）
- ⑰ クンドゥーズの金属製口琴
- ⑱ 馬鈴（ばれい）
- ⑲ たくちゃん貯金箱「楽器」シリーズより「トランベッター」
- ⑳ たくちゃん貯金箱「楽器」シリーズより「ベース」
- ㉑ たくちゃん貯金箱「帽子」シリーズより「マラカス」



北海道博物館に
たどりついた“楽器”
.....

北海道博物館には、さまざまな人びとがさまざまな場所や機会に奏でたであろう“楽器”も収められています。楽器を「音楽を演奏するための器具」とだけ捉えるなら、これらはもはや演奏されることのない、いわば楽器としての役目から引退して博物館で余生を過ごしているご隠居のようなものかもしれません。しかし、知恵者のご隠居らしく、それぞれに現役として働いていた当時のさまざまな状況を、楽器の姿かたちといっしょに、今に伝えてくれています。



手風琴
(ディアトニック・アコーディオン)



スチールギター



軍隊で使われたサクソリン属の金管楽器



びんざさら



フルート



篠笛



龍笛



尺八



琵琶 (薩摩琵琶)



ニガフの撥弦楽器「トウソクレン」



笙 (しょう)



大鼓 (おおつづみ)



小鼓 (こつづみ)



締太鼓



鞆鼓 (かっこ)



鉦鼓 (しょうこ)



祭太鼓

知る

人の暮らしに
かかわる“音具”
.....

暮らしの中には、音を出すことで具体的な目的や用を果たす道具＝“音具”^{おんぐ}があります。なかでも、シカ笛をはじめとする「おとり笛」は、えものを呼び寄せるための狩猟用具であるという点で、狩猟を生業とする人の暮らしに直結する音具です。また、北海道でもよく使われた熊よけラッパは、身の安全をはかるための大事な音具でした。ほかにも音で信号や合図を送るもの、寺の鐘や木魚など信仰儀礼に欠かせないものなど、さまざまな音具が見出せます。

これら音具は、実用的な目的のために使うものですが、音を出すしくみは“楽器”と考えられているものと非常に近かったり全く同じだったりなど、知れば知るほど“音具”と“楽器”の区別がむずかしくなります。

ここからは、シカ笛研究の第一人者で、楽器や音具にくわしい枡谷隆男さんのコレクションを中心に、シカ笛をはじめとするさまざまな音具の世界をめぐっていきます。



巫術用の一面太鼓(樺太)



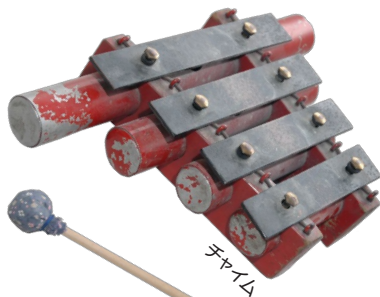
拍子木



馬鈴



鈴(りん)



チャイム



団扇太鼓
(夜警親時用)



熊よけラッパ



木魚



ビューグル(軍隊ラッパ)



★ エルクコール
(アメリカアカシカ笛)



★ ムクドリ笛



★ 妙高のマタギのシカ笛



★ 比立内のマタギによる「ワラダ」



★ ムースコール
(ヘラジカ笛)



★ ティアコール
(オシロジカ笛)



★ 鹿角を模したラットル



★ エヴェンキのシカ笛「ナミク」の模型



★ エルクコール
(アメリカアカシカ笛)

★は枡谷コレクション

考える

楽器いろいろ

音具の世界を知った目で、あらためていろいろな楽器を見わたし、楽器について考えてみましょう。

世界のさまざまな音具や楽器を見てみると、一つの基準では分類しきれないおもしろいものがたくさんあることがわかります。伝統的な楽器といわれるものでも、時代に合わせて改良や試作がなされていたりします。一見仲間にはみえない楽器どうしても、音を出すしくみが同じものもあったりします。

さらに、日本の学校教育を受けた人ならたいてい一度は触ったであろう楽器の一つ、リコーダー。意外と知られていないリコーダーの歴史やしぐみなども紹介します。



教育用の樹脂管よこ笛「スベリオファイブ」



★ ガークライン



アイヌの竹製口琴



クンドウズの金属製口琴
(アフガニスタン)



★ 毛皮を張った太鼓「エクボンボ」
(エクアドル)



★ リコーダータイプの双管の笛(ペルー)



メキシコ先住民の
ボラドールス儀礼で用いる
太鼓と笛



★ ロバの下顎骨製の「キハーダ」
(メキシコ)



★ リコーダータイプの鹿角製のシカ笛



アイヌの撥弦楽器「トンコリ」

★は柘谷コレクション



★ 鼻笛

★ リコーダータイプの
3管の土笛(メキシコ)

ますや たかお
柘谷隆男 さん

北見市出身。国立音楽大学
音楽学部声楽学科卒業。
札幌篠路高、札幌拓北高
で木管リコーダーを用いた
授業や多様な音楽文化への
関心を広げる授業を推進・
展開。教務と並行して狩猟と
音楽との関連を探る研究に従
事。シカ笛研究の第一人者。
論著多数。2020年3月まで
学校法人柏学園認定こども園
南幌みどり野幼稚園園長。現在、札幌大谷大学・北翔大学ほか
講師、北海道立北方民族博物館研究協力員、東洋音楽学会・
日本音楽教育学会・北海道民族学会会員。『季刊リコー
ダー』に「リコーダーよもやま話」を連載中。

